

英単語・熟語と英文法を詳細徹底学習かつ即解講座
第1号 問題1～5 のサンプル
発行者：鈴木 拓 <http://www.thebelltree.com/>

こんにちは。

「英単語・熟語と英文法を詳細徹底学習かつ即解講座」の鈴木です。

ご利用いただきありがとうございます。

本講座は1号につき、5問ずつ解いて行く講座になります。

第2号以降は、

一挙に5問出題して、解いていただく、

↓その後、一気に解答と解説をしていく

という流れになります。

ただし、本号は、第1号なので、第1、2問は、1つ1つ解説して行く形になります。

では、1問目の出題となります。

1. The San Rafael Public Library ----- to providing a safe and welcoming environment for families and children.

- (A) dedicating
 - (B) to dedicate
 - (C) is dedicated
 - (D) dedication

(解答解説を行います。解答解説を見てしまわないために、間を開けます)

（ここまで）

1. The San Rafael Public Library ----- to providing a safe and welcoming environment for families and children.

- (A) dedicating
- (B) to dedicate
- (C) is dedicated
- (D) dedication

まず、穴埋め問題を解く際に、最初に絶対にチェックする必要があることが2つあります。

1：「あ、この英語見たor聞いたことある。これってよく言うよね？
これが答えじゃない？」という、
見聞きした感覚があれば、目星をつける

2：選択肢の品詞を見て、「同じ品詞ばかりか」「違う品詞ばかりか」を確認

1つ1つお話ししていきますね。

1：「あ、この英語見たor聞いたことある。これってよく言うよね？
これが答えじゃない？」という、
見聞きした感覚があれば、目星をつける

見たり聞いたりした経験による感覚なので、過度に信頼はしない方がいいですが、英語では、生の英語に一杯触れて、

「こういう言い方がよくされる」

というのを感覚として持っておくことは非常に重要。

これは穴埋め問題でもそうで、こういう感覚がある人は、

「あ、これってよく言うから、これが答えじゃない？」

と、目星をつることができます。

今回で言えば、

「be dedicated toって、よく言うよね。
特に図書館とか組織が、自分たちの使命を語るときによく見る」

「あれ？ 主語はあるのに、動詞がない。動詞が入るのは」

という感覚がある人は強いです。

あくまで、目星をつけるという形であり、
英文法の知識などを使って、「本当にこれでいいよね」というのを確認する、
ダブルチェックが必要です。

でも、経験に裏打ちされた感覚というのは出てくるのは一瞬で速い。

なので、早く解くことができます。

感覚として出てこないのなら、100%英文法や語彙の知識だけで解かないと
いけないし、感覚として、出てきても、ダブルチェックは必要なので、
英文法や語彙の知識も絶対に必要なのですが、

生の英語に一杯触れていて、経験に裏打ちされた感覚がある人は、

- (1) : 感覚で日星を素早く着ける
 (2) : 知識で念のためダブルチェック

と、早く、しかも正確に解くことができます。

もちろん、感覚で出てこなければ、知識だけで解くことになります。

では、次の話です。

2：選択肢の品詞を見て、「同じ品詞ばかりか」「違う品詞ばかりか」を確認

穴埋め問題は、「英文法の問題」か「語彙（英単語・熟語）の問題」か、の2つに分かれます。

どちらの知識を問う問題か、は、選択肢の品詞を見れば一瞬でわかります。

- A : 品詞が違う選択肢ばかりなら、英文法の問題
B : 品詞が同じ選択肢ばかりなら、語彙の問題

ということになります。

英文法の問題なら、英文法の知識があれば、考えれば解けるチャンスがあります。

しかし、語彙の問題だと、知らない語彙ばかりだとどうしようもありません。なので、わからないのなら、早めに見切りをつけて、次の問題に進むなど、時間を無駄にしないことが重要です。

今回の問題を見ると、

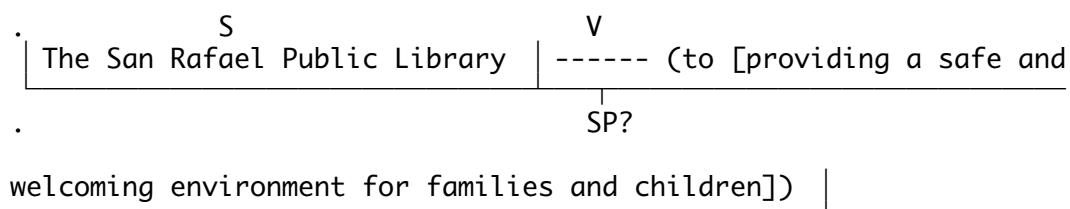
- (A) dedicating 現在分詞
(B) to dedicate 不定詞
(C) is dedicated 動詞 (受動態)
(D) dedication 名詞

となっていて、品詞がバラバラ。

なので、英文法の問題になります。

ということは英文法の知識で解くことになります。

では、ここから「英文法の問題」として実際に解いていきます。



英語で最も重要なのは、S（主語）とV（動詞）です。

英語には、5つの文型がありますが、どの文型であろうと、SVから始まり、この2つを把握することが、絶対に必要です。

Sはありますか、Vはありますか。

ということは、V、つまり動詞の選択肢を選ばないといけません。

選択肢を見ると、

- (A) dedicating 現在分詞
(B) to dedicate 不定詞
(C) is dedicated 動詞 (受動態)
(D) dedication 名詞

となっており、動詞なのはCだけになります。

Aは、現在分詞。is dedicatingのように、be動詞があれば、進行形で、動詞になれますぐ、現在分詞だけだと、形容詞か副詞にしかなれず、間違い。

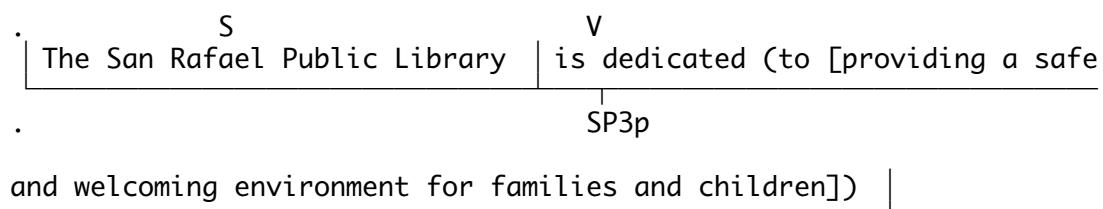
Bは不定詞。不定詞は、名詞か、形容詞か、副詞のいずれかとして使えますが、動詞にはなれません。

Dは名詞です。

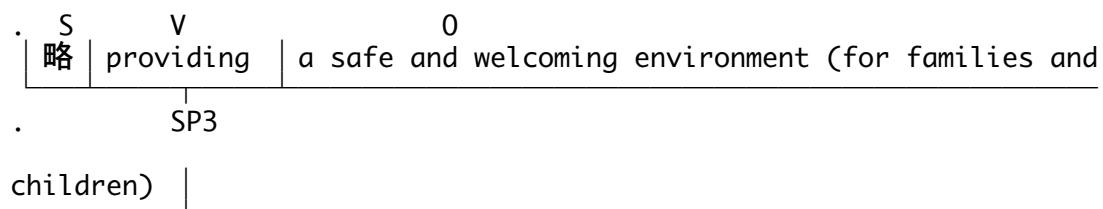
*dedicate*というのは、「～を献身させる」という意味。

図書館は献身させられる方なので、受動態なのが正しいです。

構造としては↓のようになります。



providing以下は動名詞で、↓のような構造。



be dedicated toで、「～に献身する」はよく使われ、この**to**は前置詞の**to**です。

前置詞の後ろは名詞を置くので、動名詞という名詞を置いています。

【語彙解説】

- be dedicated to [動] ~に献身する

個人、あるいは団体、組織が、「私はしっかりと全力で取り組む」「私たちの使命はこれをすることです」と言う意味でよく使われます。

dedicate -self toや、dedicate 所有格 life toなど、能動態で使われることもあります。

- welcoming [形] 歓迎するような

お客様などを「歓迎するような」「迎え入れるような」という意味で使われます。

【穴埋めした後の英文と日本語訳】

The San Rafael Public Library is dedicated to providing a safe and welcoming environment for families and children.

「サンラファエル公共図書館は家族と子供たちに安全で、歓迎する環境を提供することに献身します」

もう1問解いてみましょう。

2. To make the Library an enjoyable place and to encourage a love of books, reading, and learning, we offer ----- children's areas, programs, and services for children.

- (A) designated
(B) denigrated
(C) destined
(D) denounced

(解答解説を行います。解答解説を見てしまわぬために、間を開けます)

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

(ここまで)

2. To make the Library an enjoyable place and to encourage a love of books, reading, and learning, we offer ----- children's areas, programs, and services for children.

- (A) designated
- (B) denigrated
- (C) destined
- (D) denounced

1 : 経験に裏打ちされた感覚

designated areasというのはよく使われます。

「この場所を指定します。ここはこういう目的のための場所です」

という意味でよく使われます。

2 : 選択肢の品詞

- (A) designated 過去分詞
- (B) denigrated 過去分詞
- (C) destined 過去分詞
- (D) denounced 過去分詞

すべて過去分詞。ということはこれは英文法ではなく、語彙の問題。

語彙の問題ということは、知らないとどうしようもない面があります。

語彙問題は、
英文法問題よりも、1の経験に裏打ちされた感覚が重要になります。

- (A) designated

designateは、「～に指定する、指名する」という意味。

野球の「指名打者」は、designated hitter 「指名された打者」で、
これの頭文字を取ったのが、DHです。

DH以外に、今回のように、

「この場所は子供用の場所に指定します」

というように使われます。

答えはAになります。

- (B) denigrated

denigrateは、「侮辱する」「中傷する」という意味。

例文 : It is inappropriate to denigrate someone's character.
「人の性格を侮辱するのは不適切です」

- (C) destined

destinedは、過去分詞だから形容詞で使えるというより、
もはや、最初から形容詞として見なされます。

「運命の」という意味になります。

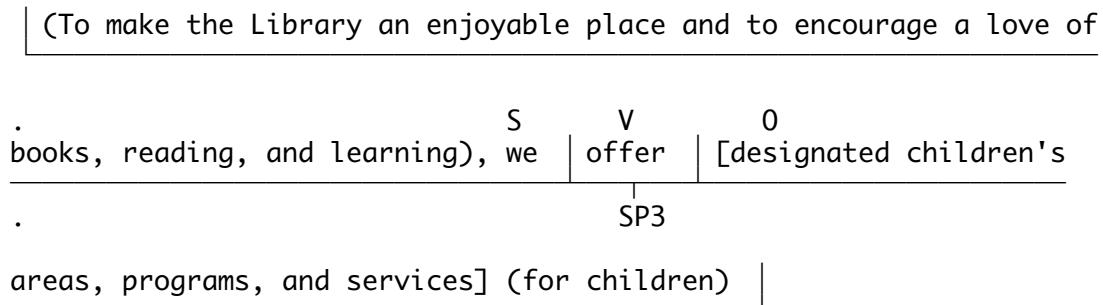
例文：We are destined to meet again.
「私たちはまた会う運命なのです」

(D) denounced

denounceは「公然と非難する」という意味になります。

例文：That congressperson made such an inappropriate remark that
he was denounced by his fellow congresspeople.
「あの議員はあまりに不適切な発言をし、彼は同僚の議員たちから公然と
非難された」

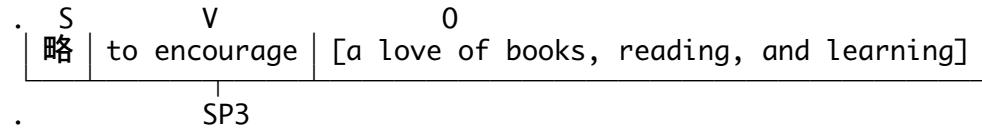
【構造図】



to make (副詞「目的」) 前半



to encourage (副詞「目的」) 後半



【語彙解説】

- encourage [3V] 奨励する

第5文型で、「OにCするよう説得する」という意味で知られていますが、
第3文型で、「奨励する」という意味でも使われ、今回はその使われ方です。

【穴埋めした後の英文と日本語訳】

To make the Library an enjoyable place and to encourage a love of books, reading, and learning, we offer designated children's areas, programs, and services for children.

「本図書館を楽しめる場所にして、本、読書、学習への愛を奨励するため
に、私たちは子供たちのために、指定された子供のエリア、プログラム、
サービスを提供します」

恐縮ですが、サンプルですので、ごく一部をお見せするだけの形となります。

サンプルの内容は以上となります。

英語学習のお役に立てればと思っておりますので、
何卒よろしくお願ひいたします。